

# 模擬問題

## 2024 最終・社福国試対策

医学概論 (1～6+④)、心理学と心理的支援 (7～12+④)

社会学と社会システム (13～18+②)

/ 糖尿病についての次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 現在、糖尿病が強く疑われる人と、糖尿病の可能性が否定できない人の合計は約1000万人である。
2. 糖尿病は、膵臓のランゲルハンス島の $\alpha$ 細胞から分泌されるインスリン過剰によって発症する。
3. 三大合併症とは、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害である。
4. I型糖尿病は中高年に、II型糖尿病は若年者に多く発症する。
5. 治療の基本は薬物療法で、必要に応じて食事療法と運動療法を行う。

ㄥ 老化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 40歳から身長と座高は減り始め、生涯で男性は5cm、女性は10cm程度身長が短縮する。
2. 高齢期になると、残気量が減少するため肺活量は増加する。
3. 老人性難聴は伝音難聴で、低音領域から次第に聴き取りにくくなる。
4. 50歳以降、大脳の前頭葉を中心に脳の重量と容積は増加する。
5. 短期記憶は加齢とともに徐々に低下する。

ㄷ 国際障害分類（ICIDH）と国際生活機能分類（ICF）に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 国際生活機能分類（ICF）は、障害を機能障害、能力障害、社会的不利に分類した。
2. 国際障害分類（ICIDH）は、障害を心身機能、構造、活動、参加に分類した。
3. ICFはICIDHの考え方を根本的に変え、新しい障害分類に改訂した。
4. ICFによる参加とは、個人による課題や行為の遂行のことである。
5. ICFによる活動とは、生活・人生場面へのかかわりのことである。

ㄹ 健康に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 疾病予防の3段階説の早期発見・早期治療は第1次予防である。
2. プライマリヘルスケアは「すべての人に健康を」を基本理念とするWHOによる健康戦略である。
3. 健康寿命は女性に比べて男性の方が長い。
4. 疫学とは、個人の健康に関する学問体系である。
5. 介護予防とは、高齢者が要介護状態になるのを防ぐことで、既に要介護状態の場合は対象外である。

ㄱ 器官の構造と機能についての次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 鼻から肺内に吸い込み、肺胞内に取り入れた空気と、そこを流れる血液との間で行われるガス交換を内呼吸という。
2. 食物の消化と吸収の大部分は大腸で行われる。
3. 原尿は糸球体で濾過される前の状態である。
4. 膵臓はホルモンを分泌する外分泌と、膵液を分泌する内分泌機能を有する。
5. 筋肉は骨格筋、心筋、平滑筋に分類されるが、骨格筋は随意筋である。

③ 高齢者の病態に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 過度の安静や長期臥床は廃用症候群の原因となる。
2. 褥瘡の好発部位は、腰部、大腿骨体部、胸骨部などである。
3. 高齢者では高血圧、高蛋白質血症、甲状腺機能亢進症などで浮腫をきたしやすい。
4. サルコペニアとは、高齢になって筋力や活力が衰えた段階をいう。
5. フレイルとは、進行性および全身性の骨格筋量および骨格筋力低下がみられる状態である。

④ 精神疾患の診断に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 国際的診断分類として、米国精神医学会の作成によるICDと、WHOが作成したDSMが用いられている。
2. DSMは診断カテゴリーにアルファベットのFコードを使用している。
3. 精神疾患関連の教科書は、DSM分類に準拠したものが使われている。
4. DSM-5では新しいカテゴリーとして、神経発達症群が登場した。
5. DSM-5では、操作的基準と多軸診断が使われている。

⑤ ヒトの成長・発達に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 新生児期とは出生から1歳までをいい、幼児期とは1歳から3歳までをいう。
2. 身長は生後1年で3倍に、体重は5倍に増加する。
3. 視力と聴力は、出生時よりほぼ成人並みである。
4. 人見知りは3～5歳がピークで、7歳頃には消える。
5. 喃語は3か月頃よりみられる。

⑥ 疾患と関連する症状の組合せのうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 心筋梗塞 ————— 激しい頭痛
2. パーキンソン病 ————— 間欠性跛行
3. 一過性脳虚血発作 ————— 脳血管破裂
4. 脳塞栓 ————— 心房細動
5. ダウン症候群 ————— ホルモン分泌異常

⑦ 国民健康づくり対策に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 生活習慣病対策として重点的に取り組むのは感染症、精神疾患対策である。
2. 2000（平成12）年から2010（平成22）年までを対象とした健康日本21の目標は達成された。
3. 第2次健康日本21は、健康寿命の延伸などを目標とした「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動」である。
4. 特定健診は65歳以上を対象とし、皮下脂肪型肥満に着目した健康診査である。
5. 健康増進法は、高齢者の健康増進を目的として制定された。

7 感情に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 気分は、心拍数や呼吸などの生理的な反応を伴い、瞬間的に強く発せられる。
2. 情緒は、一定の状態で、長時間持続する。
3. 新生児微笑は、特に人の顔や声に対して誘発される。
4. 社会的参照とは、乳児が泣いたり、怒ったりしているとき、その感情をなだめ安定化させることである。
5. アタッチメントとは、乳児と特定の人との間に結ばれる強い心の絆である。

8 対人認知に関する次の記述のうち、ピグマリオン効果の説明として最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ある側面において望ましい（または望ましくない）特徴を持っていると、他の側面においても望ましい（または望ましくない）と見なすこと。
2. 自分の弱さや欠点などの望ましくない特性を外集団の成員が持っていると考えようとする事。
3. 特定の対象に対して繰り返し接触することで、それに対する好意的な態度が形成されること。
4. ある集団の成員に対して、画一化された、固定的な見方が生じやすいこと。
5. 児童・生徒の学業成績や行動が、教師が生徒に対して期待する方向で成就されること。

9 防衛機制に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 男の子が父親のように強くなりたいと思い、父親のすることを真似して父親のようにふるまうことを置き換えという。
2. 子どもが弟や妹が生まれたときに、指しゃぶりが現れたり、一度外すことができたオムツを再びするようになるのは逃避である。
3. ほしい車が高額で買えないので中古車で我慢したり、上司に叱られて家族にあたったりするような行動は合理化である。
4. 自分がずるく立ち回りたい人が、同僚がずるく立ち回ってるのではないかと思ったり非難したりする行動は投影である。
5. 対人関係がうまくいかず悩んでいる人が仕事に没頭したり、病気の不安のある人が検査結果のでるまで旅行にでかけて楽しむような行動は反動形成である。

10 パーソナリティに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. フロイトは超自我（スーパーエゴ）と自我（エゴ）とイド（エス）の構造からパーソナリティをとらえたが、超自我の統制が弱いタイプは、自分の本来の欲求を抑圧しやすく神経症的であると考えた。
2. 反動形成や合理化といった防衛機制は、自我が脅威にさらされると無意識的に働くので、特定の個人においてはどの機制が働きやすいといった傾向はない。
3. シュプラングァーは、価値の類型によってパーソナリティを分類したが、社会的な活動に熱心で、他者を愛し、奉仕することに価値を置く人は冷静型とされる。
4. YG性格検査（矢田部・ギルフォード性格検査）では、12の性格特性の量的な把握をめざすので、パーソナリティをいくつかの型に当てはめて診断することはしない。
5. エングは、リビドーの向かう方向からパーソナリティを外向型と内向型に分けたが、さらに、4つの意識の機能（思考-感情、直感-感覚）の組合せから8つの類型に分類している。

1/ ストレス反応に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. うつ病は、脳の機能障害であるから、生活の中のストレスとは関係なく発症する。
2. バーンアウト（燃え尽き症候群）は、個人の資質やスキル不足の問題である。
3. 学習性無力感とは、対処することができない出来事を体験することによって、無気力、引きこもり、活動性の低下を見せるものである。
4. 適応障害は、ストレス因子がはっきりと同定されないことが多い。
5. 心的外傷後ストレス障害（PTSD）は、命の危険にさらされるような体験の後、フラッシュバック（侵入的回想）や回避行動、精神的過敏症状等の症状が3日から1か月持続するものである。

2/ フラッディング法（flooding technique）の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. クライアントに対して、イメージあるいは現実において、最も不安や恐怖の強い場面にできるだけ長時間さらし、不安・恐怖反応を消去させようとする。
2. 物事の一面しか見られず、自分自身の欲求や経験を人格に統合することができないでいるクライアントに対して、統合を目指せるように援助していく。
3. 集団で即興劇を演じさせることによって、クライアントが創造的自発性を発展させ、認知や態度を再構成できるように援助していく。
4. クライアントに、そう考える根拠・意味等を自問させることによって、クライアント自身が、不適切な自動思考を、適応的・合理的な思考に置き換えていく。
5. クライアントが、緊張や不安などの症状を「ありのまま」に受け入れ、今すべきことをするという「目的本位」の生き方を実行できるように援助する。

① カウンセラーの次の発言のうち、来談者中心療法における「感情の明確化」の応答例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. あなたの感じている不安について、もう少し詳しく聴かせていただけませんか？
2. あなたが、人がたくさんいるところで不安になるのは、子ども時代の経験が影響しているのではないかと考えられます。
3. 病院の検査で異常がないと言われても、症状がとれず、このまま治らないのではないかと不安を感じていらっしゃるんですね。
4. あなたの就職が決まらないことについて、ご家族は何と言っていますか？
5. あなたは、これまで仕事をしながら、認知症のお母様の介護を一生懸命なさってこれ、ご立派だと思います。

② 発達に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 乳幼児と養育者との間に築かれるアタッチメント（愛着）においては、子どもは受け身的であるので、養育者の情緒的働きかけという環境がその成否のカギを握る。
2. 大型の鳥類などが、動くものの後追いを通して親の姿を覚えるというインプリンティング（刷り込み）は、発達上、どの時期においても見られる。
3. 胎児期においては、体の発達は著しいが、聴覚などの感覚器官や記憶などはまだ機能していない。
4. 発達とは精神的・身体的諸活動の直線的な漸増ではなく、質的な飛躍を見せるという特徴がある。
5. スカモン（Scammon, R.E.）の発達曲線によれば、リンパ系、一般系、神経系、生殖系などの発達は類似の発達曲線を描く。

③ 感覚・知覚に関する次の記述のうち、仮現運動の説明として正しいものを1つ選びなさい。

1. 満月は地平線方向にあるときには大きく見え、天頂付近にある時は小さく見える。
2. 踏切の赤信号の点滅を見ていると、赤が左右に移動しているように知覚される。
3. 自分の記憶力についての知識、感情のコントロール評価など、自分自身の認知プロセスについての知識やその制御のこと。
4. ある人が6メートル手前にいるときに、12メートル先にいるときの2倍の身長には見えず、見かけの大きさはあまり変わらない。
5. 滝を見続けた後に、動いていない周囲の岩を見ると、岩が滝の流れと逆方向に動いて知覚される。

④ 動機づけに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 達成動機が高い人の傾向として、自分が取り組んだ課題に失敗すると、その原因を運などの外的要因のせいにする。
2. 叱られるのが嫌なので、仕方なく勉強をする子どもは、内発的に動機づけられている。
3. マズロー (Maslow, A.H.) の欲求階層説においては、各階層の欲求は、より低次の欲求の充足とは関係なく生じる。
4. 空腹でなくても、ケーキがおいしそうなら食べることがある。これは動因が弱くても、誘因によって行動が引き起こされることを表している。
5. 一般に遠くて水準の高い目標を立てた方が、より具体的で達成可能な目標を立てるよりも、課題の成績がよくなる。

13 社会集団に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 準拠集団は、個人の態度形成や行動の準拠となる集団であり、集団からの強制力を伴わない非所属集団は含まない。
2. インフォーマル・グループとは、ある個人がそこに所属し、帰属感や愛着を持ち、そこに所属している人を仲間として意識し得る集団のことである。
3. 第一次集団は、学校、会社、組合などのように、特定の利害関心に基づいて組織された集団である。
4. 社会集団は、成員であることの自己認知とともに他者からの認知があり、また、成員間の相互作用が存在するなどの特徴をもっている。
5. 将来所属することが確実視される集団の価値や行動様式をあらかじめ学習しておくことを、仮想的社会化という。

14 社会思想家に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. ウェーバー (Weber, M.) は、人々の精神のあり方の変遷によって社会も発展していくという三状態の法則を説いた。
2. スпенサー (Spencer, H.) は、『社会分業論』において、人々の連帯が「機械的連帯から有機的連帯へ」と変化してきたと説いた。
3. コント (Comte, A.) は、機能主義の社会理論を構築し、顕在機能-潜在機能、順機能-逆機能の概念を提唱した。
4. パーソンズ (Parsons, T.) は、システム論を導入し、AGIL4機能を社会システムが均衡し存続するために必ず必要なものと考えた。
5. マートン (Merton, R.K.) は、西ヨーロッパで資本主義が誕生したのは、プロテスタントたちの倫理観が大きく影響していると考えた。

15 コミュニティと地域に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 鈴木榮太郎は、コミュニティを「社会的存在の共同生活の焦点」と定義し、そこを基盤に「共同の関心の追求のために設立された社会生活の組織体」をアソシエーションとした。
2. トフラー (Toffler, A.) は、通信技術の発達によりコミュニティが地域という空間に限定されない形で展開するコミュニティ解放論を唱えた。
3. 磯村英一は、都市独自の機関として結節機関の存在を指摘し、都市には第三の空間があると主張した。
4. マッキーヴァー (MacIver, R.M.) は、その地域に居住している住民階層の違いに基づいて、都市は中心部から周辺に同心円状に拡大していることを発見した。
5. 大野晃は、65歳以上の高齢者が集落人口の半数を超え、社会的共同生活の維持が困難な状態に置かれている集落を限界集落と定義した。

16 町内会に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 町内会のような地域における住民自治組織は、都市で発達したもので、戦前の農村には住民自治組織は存在しなかった。
2. 町内会は、戦争遂行を草の根で支えた組織ということで、1947年にGHQ (連合国軍総司令部) によって解散させられた。
3. 町内会は、地方自治法に基づいて全世帯に加入が義務付けられている。
4. 過疎化が進み、町内会を維持できなくなった地域を限界集落という。
5. 東日本大震災以来、NPOやテーマ型のコミュニティが急増してきたことで、町内会の役割は軽視される傾向にある。

17 人口動態の用語に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 人口転換とは、首都圏をはじめとする三大都市圏から、高齢化にともない地方都市へと人口が回帰する現象である。
2. 合計特殊出生率とは、15歳から49歳の女性の、年齢別出生率を合計した指標で、一人の女性が平均して一生の間に何人の子供を産むかを表す。
3. 人口置換水準とは、その国の人口が自然増減のみで維持できる出生水準のことで、1.02程度が維持基準とされている。
4. 国民扶養負担の重さを示す従属人口指数とは、生産年齢人口に対する老年人口の比率を算出したものである。
5. 人口オーナスとは、従属人口指数が低い状態をいい、一国の経済活動にとって有利な人口構造である。

18 近代化にともなう社会状況に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 近代化にともない、社会階層の形成の在り方が、業績主義から属性主義に変化する。
2. 人口動態は、多産少死から少産少死へと変化する。
3. 非西洋社会では、西洋に植民地化された多くの国で近代化に失敗し、いまだに開発独裁といった政治体制が継続している。
4. 近代化とは、すなわち情報化社会の進展である。
5. M.ウェーバー (Weber, M.) によれば、カリスマ的支配や伝統的支配に代わって、近代では合法的支配に基づいて官僚制が進化すると説明した。

19 社会階層と社会移動に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 社会の産業構造の変化によって、親の職業とは異なる職業に就くことを余儀なくされる移動を強制移動という。
2. 子が父親の職業とは異なる職業に就くことによって階層移動がなされた場合、これを世代内移動という。
3. 近代における社会移動とは、農村から都市へ人口が集中することである。
4. 社会階層を決定するものには、「富」「権力」「威信」「知識」の4つの要素あげることができるが、これらを文化的資源という。
5. 生産手段に対する関係という側面で共通の立場にある人々の集合を表す社会的カテゴリーを社会階層といい、近代社会以降に捻出された歴史的概念である。

20 生活に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. ライフスタイルは、生活の場における物質、制度、人間などに対する個人の価値観に基づく行為のパターンとされる。
2. ライフサイクルは、人生をパターン化する考え方とは対極の視点に立っている。
3. ライフステージとは、それぞれの人が生活する空間と場所を指す言葉である。
4. ファミリー・ライフサイクルは、貧困調査の中でラウントリー (Rountoree, B.S.) が発見した。
5. ライフコースの考え方は、同じコミュニティのなかで生活する人々の人生を記録して、そこに共通した人生の在り方を見出す。